

35

人事局



第十信線

東京 111016 (11月16日) 東京 111016 (11月16日) 東京 111016 (11月16日) 東京 111016 (11月16日) 東京 111016 (11月16日)



東京 111016 (11月16日)

東京 111016 (11月16日) 東京 111016 (11月16日) 東京 111016 (11月16日) 東京 111016 (11月16日) 東京 111016 (11月16日)

大正八年

五月八日

海軍

173

面新整兵力不足ナリ英ツテ貴方面ヘノ増援兵力ノ進出ハ貴方面  
 要隘要衝ノ消滅ニ依ルコトトシ夫茲ハ兵力懸念人員ノ貴方面集結  
 要隘要衝ノ貴方面進駐ヲ行ヒ貴方面部隊ハ概々現作戦ヲ續行セシメ  
 ラルル内基ニ付可然了奉アリ度  
 貴方面ニ對スル一策トシテ二十五日ヲ以テ同全節航空隊機工其ノ他種英  
 兵ノ内地方面進出ハ概々了重要ト雖ノラルル進駐進駐未知致度

第十信課

海

軍

175

TYP

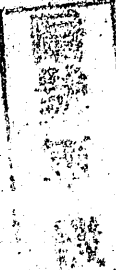
人事局



第二... (OHKOH) (OHKOH) 様

親展

東京通信... 二十一日



第二... 三三八番

Main body of vertical Japanese text, likely a report or letter. Includes phrases like '親展', '東京通信', and '二十一日'. There are some handwritten notes and stamps interspersed.

六九六九

AA (一〇〇九五部) 五放

海軍 1

第十信課

174

Handwritten notes at the bottom left, including 'アト' and other characters.



KAT

人 局長 課長

四二 第一機動部隊 五五九三

第一機動部隊 第一機動部隊 第一機動部隊

五月十日  
第一機動部隊 第一機動部隊 第一機動部隊  
第一機動部隊 第一機動部隊 第一機動部隊

部 方面 集合 スルヲ  
地 附近 在リ  
得 如ク急線成ス  
地 点 等 後 合 ス

(六九五五) 五五九三 (五五九三) 通

軍

(巻)



77

人事

四三三 野崎 〇〇三九 野丁 ONIWA (ONAKIJI) 作 夏

瀬原

● 三十 野 A

● 大出 野一 野・南西方面 野野口

野野口 野野口 野野口 野野口 野野口 野野口 野野口 野野口 野野口 野野口

野野口 野野口 野野口 野野口 野野口 野野口 野野口 野野口 野野口 野野口

野野口 野野口 野野口 野野口 野野口 野野口 野野口 野野口 野野口 野野口

野野口 野野口 野野口 野野口 野野口 野野口 野野口 野野口 野野口 野野口

第十信 課

七二七九

野二A 一五五八五野一五種

海軍

(17)

IKdF

人事

急

第二編 展

四 一二

受了

〇〇〇  
三〇  
三  
〇〇

(〇五六一九)

作動

第十信線

作

大和・摩耶・島風・霧風

瀬波・呉鎮・二艘隊戸・一戰隊、十戰隊、二水戰各

海軍

機密第一一二〇一一番電

第一機動艦隊參謀長

大和・摩耶・島風・霧風ハ大和艦長之手指揮準備出來次第出撃  
同機密シララルル決定。

川二カ

七一五八

目二A (四三九七五) 海軍

178

NTP

親展

圖一三  
●五  
●八  
●九〇〇

〇〇〇六六六  
〇〇〇三三三  
〇〇〇一五三  
〇〇〇九

●五  
●八  
●九〇〇  
●一〇〇〇

機

機密第一二一六五八番原三分ノ一三五

陸軍 南軍方面陸軍參謀長

陸軍 陸軍參謀長

通帳 陸軍參謀長、大務部一部長

機密第一一一二三八番原

一、第二十五號陸軍司令部ノ機密ハ其陸兵力ノ進出見込等ナルヲ

以外取得ルモ現在何司令部ハ其所在基地航空部隊合計四五〇

七八五三、七八二七、七八一四 ▲▲(五三三五)八通

海軍

陸軍  
第十師團  
第十師團

179



第十信課

◎◎表ハ特選隊定者ヲ含ム。及設置隊因隊ヲ指揮シツツアリ然ルニ各航空部隊ハ何レモ主要幹部不在ナルヲ以テ司令部轉運ノ聯合ハ之ニ代リ各部隊ヲ指揮ノ儘所精進ヲ復舊セシムル要アリ尙左記ヲ含シ覽カレ度

(一)司令部轉出ノ聯合ニ於テモ通信關係員ノ大部ハ之ヲ殘留セシムル要アリ然ラザレバ將來一時期ト雖モ航空兵力遂出作戦スル場合當方面特殊ノ情況ニ根據セズ統括適切ナル指揮ヲナスニ支障大ナリ

(二)機動力極度ニ決塞セリ二月以來ノ航空關係要線送人員尙尙一九◎◎名滞留アル狀況ナリ司令部副隊長多數ノ進急ナル移動ハ實行困難ナリ

(三)航空隊機工ニ關シテハ當方ニ於テモ既ニ同一準備ノ下ニ機工ヲ考慮シ居レルモ輸送力ニ阻ラレ如何トモ致シ難キ實情ナリハ二月

海軍

180



1610

以來航空廠關係人員幹部以下一五名（向航空廠關係員ハ目下  
該方面遊動）決取上所要兵器ノ考案製作ニ多大ノ貢獻ヲナシツツ  
アリ。

電信  
第十  
課

海軍

181

3Kf

# 作

四一三  
 一三  
 一六〇〇  
 一六五〇  
 一六四八四  
 作

● 大...  
 ● 聯合...  
 ● 官...  
 ● 第一...

陸軍...

一三一〇 九



三...

最近...  
 著...  
 東方...  
 本...  
 半...

八一九三  
 呂二八(一五七一〇七)三十一  
 海 軍

第...課

182





GF

人事局

親屬

作

四一三

受領一八一六  
開始二〇四五

丁二二一〇（〇六五六〇）作 區

第十信課

聯合艦隊各戸

軍令部長、海上護衛隊口

機密第一三一七二一香

機密

● 軍令作第 四七號

護密聯合艦隊命令第七三號別冊 作機密制第三節第三號軍區分編

守主隊 及 在 各部隊 中部太平洋艦隊長官之

合七指 四月二日附

八三二〇

三三A（一九五五〇）二十一通

海

軍

184

TYF

第二種附親展

五山 西

報 著

印各口下

軍令部部長

機密第一四三〇一番電 一、二、三

丁ノ電令作第ニハ號

区一作最指導中要領先、通定ハ

一作最用意奉令迄

山作最方針

一 PK 〇H 間、飛行哨戒ヲ重視

現況象狀況ニ鑑ミ、全幅飛行機哨戒ニ倚

頼ニ傳中ハ此アルヲ以テ特ニ PK 〇H 間ハ

八九〇八、八九七、八九二三五 A 三 一〇〇九五 KC 海 軍

一六〇〇  
一五〇〇  
一四〇〇  
一三〇〇  
一六〇〇  
一五〇〇  
一四〇〇  
一三〇〇  
特 暗

祭 五 通

185

水艦哨戒ヲモ重視

三 P.T. P.T.N. P.P.V. P.P.P.ニ対シテ航空作戦準備ヲ促進

四 敵岸上ノ場合基地航空隊ヲ攻撃シ、攻取目標ハ敵機動部隊トシテ何レ由何レ最速期待ヲ得ルモノニ對シテ機ヲ失セズ兵力配備ヲ決ス

四 作戦要領

一 某基地航空隊ノ部隊指揮官(基地航空隊長)カヲ統一指揮(訂定ニ依リ)O.B. B.A.G. O.A.N. O.C. P. O.C. B方面哨戒偵察及奇襲

作戦

三 基地航空隊ノ部隊ハ其ノ主力ヲP.S.A方面ニ配備シ、大方面ニ在リテ敵機ノ襲及哨戒

第十信課

海軍

186



其力大

四 本道 警備隊 警備隊 一部 以下 P. 10 以下 消息

成 監視 見 日 其 方 及 O. A. 年 南 北 線 面 哨 戒 之 要

地 傾 察 好 機 敵 攻 襲

五 一 作 是 用 意 奉 令 以 後 作 爲 要 領

山 本 機 動 部 隊 八 五 月 十 日 華 島 中 南 部 之 集

結 去 夜 三 備 上 之 爾 後 進 去 機 令 人

四 監 視 哨 戒 中 一 警 備 隊 以 外 出 動 可 能 日 本

艦 八 敵 情 之 如 之 所 察 海 面 常 敵 及 攻 襲

一 機 動 部 隊 去 夜 之 協 力 之 協 力 之 協 力

了

第十課

海軍

97

人事



一等

陸軍

少将

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

(〇〇〇一六四)

作

監

第 電 信 課



陸軍

二五、一、一、二、三、四、五、六、七、八、九、一〇

（第一〇〇〇〇）

陸軍

陸軍少将

陸軍第一師一〇〇〇番

陸軍少将

陸軍少将

陸軍

陸軍第一師一〇〇〇番

海

軍

188

四一五

受給〇五二〇〇

〇五四〇

〇七五〇六

作

第十信課

第十四聯合航空隊

練習聯合航空隊

人 陸軍本部 陸軍部 第三航空隊 陸軍部 陸軍部 陸軍部

機密第一五一五四三番電 二分ノ一

帝國陸軍臨時編制中左ノ進取意ノヨリニ等機中

五月一日附

(四) 陸軍部航空隊編制 27/18 7/18 = 24

(四) 陸軍部航空隊編制 (陸軍部) 一八分ノ二七 (陸軍部) 八ノ二九

〇五二〇〇

九五六八・九七〇八

五二〇〇

〇五二〇〇

〇五二〇〇

〇五二〇〇

189



三右改裝二件と海口海軍航空要務部航空學生、練習生ハ左ノ通り要裝

ノ上教育施行ノ豫定ニ付準備ヲ進メテレ度

(4)海口空軍駐ハ三頭空へ 陸軍進攻ハ蘇南空へ

(5)重機空軍攻ハ十三翼空隊へ一新竹基地ニテ準備ノ上滿地ニ差

出ノエトトナル豫定

三 虎島空(候補)ノ施設進捗状況及海軍島方面航空隊ノ教育現狀

海軍別及教育場所ニ通知ヲ得度

第拾課

海

軍

190

大專

新急

一 四一五

受信一八五四譯了二四五  
譯始二二〇

(〇七五七七)

作

六斤月

大海参一部 卯月 卯名月

暗號軍機

機密第一五七二五番電

T Y B 電令 作 第三〇號

先遣部隊指揮官ハ T Y B 電令 第三八號ノ外

一部兵力ヲ以テ 聯合 艦隊 機密第一四一八〇一番電  
ニ依リ 哨戒 要地 偵察ヲ 妥具 施スヤシ

九五九八

三 A

(一〇〇九五九)

海

軍

191

工勇  
福地  
考我  
十指  
録

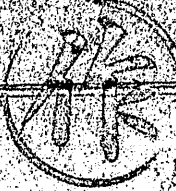


局長

課長

局長

第拾課



日一六 案第8231号 第41号 (8240181) 第

大 蔵 省 一 課 総務課長官公署長官事務官

事務官

二六、十七

文 書 部

四月十五日付案第...  
TAJAY...  
JOY...  
JOY...

一九三三・一〇〇九 五三〇(一〇三九〇二) 九一四

192





31

甲 一六 〇八五四 〇七一八三三

乙 一六 〇八五四 〇七一八三三

〇 五 〇七八三三

〇 〇合 〇七八三三



陸軍省

陸軍省 陸軍部 陸軍省

陸軍省 陸軍部 陸軍省

陸軍省 陸軍部 陸軍省

陸軍省 陸軍部 陸軍省

陸軍省 陸軍部 陸軍省

陸軍省 陸軍部 陸軍省

陸軍省 陸軍部 陸軍省

第十信 課

194

九九六二

三三A(1009)五五

海

軍



報

人事局長

第一課長 局員

福

福

福

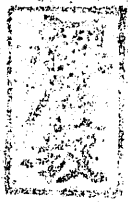
福

福

福

第十個

福



四一六

四一六

四一六

四一六

四一六

四一六

四一六

四一六

四一六

四一六

送付

第一課長 局員

第一課長 局員

第一課長 局員

第一課長 局員

第一課長 局員

18905

MINAGI (1144403) 18905

軍

195 4/10-3



IAF

入事

第...  
特...

局長

課長

局長

共

特

四一六

受了始

三三〇  
三三四  
四三〇

〇〇八  
二二  
三三  
五六

官一  
房合  
合航  
本

第十課

聯合艦隊各戸

軍令部一部  
航空本部

三空襲部隊  
聯合空襲部隊各

機密第一六一〇一〇番電

二分ノ一二

第一航空艦隊參謀長

一作戰ニ於ケルニ聯合空襲部隊四月十五日現在ニ於ケル實働兵力

組數(左ノ通)

一第四一空襲部隊

二六一空 番機二五 (P P) 番機一六 (P P)

二六三空 番機二二 (P P)

一〇三三八・一〇三〇七

四二A(五〇四七五)五通 海

傳

196

三四三空 零取一二 (PPT)

三二一空 月光 五 (P)

一二一空 機偵 四 (PPT)

四二三空 盤屋 五 (PPT)

七六一空 陸攻一二 (PPT) 陸攻 三 (PPT)

二機二空機部隊

二〇二空 零取二七 (春島)

二五三空 零取三二 (竹島)

二五一空 月光 六 (竹島)

一五一空 機材務 (春島) 搭乗員八組機材受込中

五〇三空 盤屋二九 (PPT)

五五一空 九七陸攻一〇 天山陸攻八 (PPT)

七五五空 陸攻一三 (春島) 陸攻 二 (PPT)

テニアル

機材務

PPT

PPT

第十信 隊部

海 島

197



三第六空襲部隊

三〇一空 搭乗員六七組 機材受込中五月初旬 P P 二進出 (續須有)

二〇一空 零戦 一 (M D) 機成員九九組機材受込並ニ機成中

五〇一空 零戦機三 機成員二四 (M D) 警星二 機成員一九 (M D) (何レモ機材受込並ニ機成中)

七五一空 陸攻 三 (P P P) 機成員二六 機材ナシ (M D)

四第三空襲部隊

三八一空 零戦二四 (M D) (月光 二 (M D))

一五三空 陸軍別偵三 (L R) (二式陸偵三 (L R))

七三二空 陸攻二〇 (P P P) (一部 M D)

七五三空 (豐橋機材受込中五月初旬 (L R) (三〇組))

八五一空 二式大艇四 (M D)

五第四一空襲部隊五月初旬迄ニ増勢決定兵力

第十信課

海

信

198



一三二號	卷八	三	四	五
一三三號	卷九	三	四	五
一三四號	卷十	三	四	五
一三五號	卷十一	三	四	五
一三六號	卷十二	三	四	五
一三七號	卷十三	三	四	五
一三八號	卷十四	三	四	五
一三九號	卷十五	三	四	五
一四〇號	卷十六	三	四	五

（五月申旬以後七二號）

第十卷

海

199

3F

人事局

局長

課長

局員



第十七號

命令

第一〇九七號



文部省

人事局

第一〇九七號

第一〇九七號

大正十一年三月二十一日

文部省

第一〇九七號

人事局

左ノ如ク

人事局

人事局

海軍

200



(4) 観測機用電新水晶片四月末ニ至ラザレバ入手シ得ズ

(5) 観測機整備爆装改造工事四月三十日終了豫定ナルモ本機ハ空技  
廠ノ空中實驗未済ノ爲發艦性能航續力等至急検討ヲ要スル點アリ

(6) 警星四月初頭發生セル發動機焼損ノ件ハ偶發的ノモノニシテ使  
用ニ差支ナキコト判明四月十日迄ニ十機領貯空輸セリ着艦拘  
提鉤間ニ合ハズ四月二十日以降整備ノ豫定

(二) 天山

(1) 供給陸債 迄ニ五機領貯空輸全機領貯ハ四月末トナル豫  
定

(2) 本機(天山一二型)ハ上昇ニ伴ヒ油壓低下シ五〇〇〇米以上  
ノ上昇飛行ニ不安アリ中央ニ連絡ノ上目下研究中  
自着艦拘提鉤五月初旬以降整備ノ豫定

第十信課

海軍

201



(四) 電波探信機裝備工事五月中旬終了ノ豫定

(五) 警星ヲ九九式艦艇ニ轉換ノ件ニ關シテハ機材ノ準備並ニ訓練等

ノ關係上急實現ハ困難ナル實情ニ在リ

三 四月末ニ於ケル總度豫想其ノ他

(イ) 尋戰隊平易ナル狀況ニ於テ全變着艦可能ナルモ戰團訓練不充分

ナルタノ辛ジテ簡單ナル作戰差支ナキ程度

(ロ) 戰團無警隊約二二名初度着艦訓練終了ノ豫定ナルモ術科訓練不

充分<sup>五月下旬迄</sup>訓練ヲ要ス

(ハ) 九九式艦艇隊訓練不充分ナルモ平易ナル狀況ニテ概ネ母艦兵力

トシテ作戰可能

(ニ) 警星隊四月十五日訓練開始セルノミニテ五月末概成ノ豫定

(ホ) 天山隊機材全接領收後約一ヶ月ニテ概成ノ豫定

(ヘ) 着艦訓練ハ戰團機隊隊艦九九式艦上練習機ニ對シ四月十一

第十信課

海軍

202

日ヨリ準備二日飛鷹一日實施二十三日ヨリ天山ヲ除キ三艦三日宛實施ノ決定

(ト)夜間訓練ハ實施ノ域ニ至ラズ

(ハ)各機索敵訓練概成後飛行機隊綜合訓練並ニ母艦自体及母艦トノ聯合訓練ニ約十日間ヲ要ス

四出撃ニ關スル意見機材整備遅延訓練不充分ニシテ且補用品諸要具等並シク不足シアル現状ニ鑑ミ情勢之ヲ許サバ第二案ニ依ルヲ適當ト認ム

(イ)第一案受令通り出撃スルモノトセバ戦闘機五四機九九式艦上爆撃機二七機ノミニテ此ノ場合準備一戦闘機二四機艦上爆撃機二七機(龍鳳一戦闘機三〇)ヲ充當飛鷹ハ五月末迄殘餘兵力一戰鬥機艦上爆撃機二七機(龍鳳一戦闘機三〇)ヲ充當飛鷹ハ五月末迄殘餘兵力一戰鬥機艦上爆撃機二七機ノミニテハ充分ナル攻

第二案第一案ニ依ル戦闘機及九九式艦上爆撃機ノミニテハ充分ナル攻

第十價課

海軍

103



隊力ヲ口口口得テ尙取回後ハ天山又ハ喜且喜ノ下ニ取回スル  
 事ノナルヲ以テ全兵力ノ回復成ニ六月下旬ノヲ待テテ出陣ス  
 (2) 第三天山以外ノ全兵力ヲ母體ニ貯容一又ハ空隊ノ進出ノ機  
 合ハ前進態勢ニ於テ速ニ取回行ハテ取回隊ヲ合ムノ要アル  
 トマロ本策ハ實施相當困難ニシテ效果尙ナラズ  
 再前記諸項ニ關シ詳細説明ノ爲六五二空團長ヲ費司令部ニ派遣一申  
 央トハ別ニ連絡ス

第十信

海軍

204



34F

第三  
海軍

局長

課長

局長

局長

局長

局長

第百十七號

一 八受信 CO 九五五

譯丁 O 五〇

〇〇八七六六二

政略

- 聯合艦隊口・南西方面艦隊口・一機動艦隊口
- 大海參一部

機務第一七一一六五四番電 二分ノ六ニ

第三南運艦隊參謀長

一 比島中南部ニ機動艦隊進出ノ聯合敵潜水艦方當方面ニ網集スベキ  
 ハ今則クバオニ一部兵力入泊時以後ノ状況ニ照ラシ明瞭ナリ之ガ  
 毀滅トシテ急速菲島周邊水ノ敷設ヲ實施敵潛ノ侵入ヲ阻止スル  
 ト共ニ主要水道ニ敵艦飛行機ヲ増加敵潜水艦ヲ徹底的殲滅攻撃ス  
 ルニアラザレバ機動部隊ノ確泊及訓練ニ多大ノ支障ヲ來スベシ  
 二 比島周邊水道ニ對スル機雷敷設ハ敵バラオ來襲後一時敷設中止近

一一〇二四・一〇九七一 呂三日(七八五五)三一通海

軍

205

ク再興ノ豫定ナルトヨロバヲ在厚艦曹ハ急遽敷設ニ應ジ難キ情  
 況ナルヲ以テ佐世保ヨリ供給豫定ノ二二〇〇個中差當リ一六五〇  
 個ハサンベルナルチノ<sup>ブリタニヤ</sup>ニ<sup>シノラン</sup>ニ敷設用ニ急送ヲ要ス  
 三、管線艦艇ハ四箇ノミニテ艦ニ手一杯ニシテ之ヲ主要水道ニ分派常  
 時對潜警戒ニ當ラシムル餘力ナシ  
 少クモ「サンベルナルチ」<sup>ノ</sup>「<sup>ユ</sup>」<sup>ノ</sup>「<sup>ユ</sup>」<sup>ノ</sup>「<sup>ユ</sup>」<sup>ノ</sup>ニ驅逐隊各一隊  
 ヲ必要ト認ム<sup>ハ</sup>「シブツ」<sup>ノ</sup>部隊ハ<sup>ノ</sup>艦艇<sup>ノ</sup>準備<sup>ノ</sup>分見込ナキヲ以テ  
 二隊ヲ配スルニアラザレバ比島羣島内ヘノ敵潜水艇侵入阻止困難  
 ナリト認ム  
 四、「サンベルナルチ」及「スリガオ」ニハ速ニ警備隊ヲ置キ防備及  
 小艇艇基地任務ニ當ラシムルヲ要アリ。

電信  
第十號

海

軍

206



37

局長

入

課長



局長



# 南洋展覧

第一号 昭和二十三年四月一日（一九五二年）



南洋展覧會 第一号 昭和二十三年四月一日（一九五二年）

南洋展覧會

第一号 昭和二十三年四月一日（一九五二年）

南洋展覧會 第一号 昭和二十三年四月一日（一九五二年）

南洋展覧會 第一号 昭和二十三年四月一日（一九五二年）

南洋展覧會 第一号 昭和二十三年四月一日（一九五二年）

南洋展覧會 第一号 昭和二十三年四月一日（一九五二年）

南洋展覧會

第一号

昭和二十三年

四月一日

（一九五二年）

南洋展覧會

第一号

207



天也... 加... 三... 四...

第... 十... 頁...

OKF

局長

課長

局員

寺井

寺井

第十一號

作

作

一八

受

了始

〇〇〇

九八二

四〇五

五〇〇

(〇八七四九)

作

南西方面部隊各戸

大本營海軍部・聯合艦隊戸・一航艦隊戸・中部太平洋方面艦隊戸  
三八一室・七三二室・八五一室

號

機密第一七二〇三五番電

命令作三一 一陸機密 〇 〇 〇 命令作第二〇 號ニ依ルニ作戦要領中  
「再戰第六法」ニ於テ第三空襲部隊ヲ第一航空艦隊長官ノ指揮下ニ入  
テシメラレタル場合ハ第三基地航空部隊ノ軍隊區分ヲ左ノ通り改メ各  
部隊ニ配屬

一 一 〇 四 三 呂 二 A ( 五 九 〇 五 四 ) 廿 一 週  
海 軍  
機 密 官 第 二 十 三 號 空 襲 隊 司 令 官

一 一 〇 四 三

呂 二 A ( 五 九 〇 五 四 ) 廿 一 週

海

軍

( 機 密 )

209

(四)兵力 (第三八一海軍航空隊) (第七二三海軍航空隊) 第八五一  
 海軍航空隊 (一箇中隊) (一箇中隊) (一箇中隊) (一箇中隊)  
 三東部隊 (二編入) 三八一空 (一隊) (三隊) (一飛行隊)  
 三西部隊 (二編入) 第二十八航空隊 (第八五一海軍航空隊) (一中隊  
 供) (供)

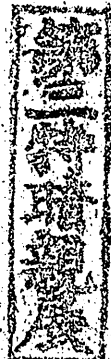
第十課

海軍

210



NTF



局長

課長

司員

寺井

第... 課

五、四、一

〇〇〇〇〇〇  
〇〇〇〇〇〇  
〇〇〇〇〇〇

了始受

(〇八七六七)

茶

共

符

着 報

NSB各PP

GF P NTF P AF P TF P 大海参一部

機密着 五〇五一番目

NSB 露令作事 三一三號

区正作 露下令セラレル場合

一、航空部隊ヲ除ク各部隊ハ NSB 命令作事ニ

ヨリテ作事要領ニ依リテ作事場合ニ準テ作

業スルニシテ但シ NG B ハ NH B ニ準テ作業シ SH

B 二部ニハ航空(第一五二空欠)ヲ T-1 B 二部

三二空(戦斗三三飛行隊戦斗三〇三飛行隊

三三三

三三三 A

海軍

一、第一隊(欠)ヲ加フ  
 二、第一空襲隊本部隊(第一三防戰(第一三空欠)及第一  
 七三三空第一五一空 戰斗三三三飛行隊 戰斗九  
 日三飛行隊ノ一ノ小隊)ハ第一三防戰艦隊長官ノ  
 指揮ヲ受クヘシ。

2-1  
 第十課

海軍

212

HTF

局長

課長

局員

局長

局長

局長

一九八 開始二〇三〇五

一〇〇〇

一〇九

一七〇

一〇

一〇

通達  
陸軍部  
合  
陸軍部  
陸軍部  
陸軍部

第五師團下。大塚師團下。千鳥師團下。

陸軍部一八一三〇三番

三分ノ一、二

陸軍部方面

陸軍部陸軍部長。大塚第一師團長。軍務局長。兵備局長。人事局長。

陸軍部部長。陸軍部部長。運輸本部長。施設本部長。軍醫局長。

最近ニ於ケル北方情勢ノ急激ニモ因リシ故ガ北方方面ニ於ケル今年度

ノ作戦期ヲ達スル前迄大規模ナル重砲作戦ヲ試スベキハ種下必至ノ慮

一一四八一、一一五一九

且三八(才一〇四)大

海

軍

213



勢ナリト察セラルル爲今日同方面ニ於ケル我々方戰備ノ迅速進歩ニ至  
 雖モ北方戰備既全射撃中特ニ左ノ條件ニ因シテハ此ノ際更ノテ優先的  
 促進方針ニ御配慮願成建定通り各司令部四月二十三日頃占守島ニ進  
 出爾後迅速ヨリ進歩ノ予定ニ有之

一、海軍兵力ノ増強昨年ニ比シ千島方面陸軍展開兵力約四倍（計約八  
 万餘）ニ増増シ敵潜水艦ノ活動ハ益々激化セルニ對シ現在海軍兵力  
 ハ著シク減少シアリ至數千根ニ對シ少クトモ海防艦六隻驅逐艦數隻  
 掃雷ノ設備ハ絕對必要ナリ

二、海軍ノ補給問題ニ於ケル水上兵力ハ戰ニ懸運給ノ一時的増強

三、海軍力ハ船舶揚子艦艇等ニ關係者多シノ増強今第一艦ノ戰備充実  
 方針ハ予定シアルモ其ノ進歩ハ一二帝國海軍ニ懸リアルニ於テ今ヤ今  
 年更北方作戦期ノ展開期ニ重面者ヲ限一時的ニテモ輸送力ノ大増強

第十課

海軍

予與斯裏卜臣  
以各司令部ノ神懸以下要員ノ充足現在該司令官部ニ於テモ兼職三員缺員  
ノ情況ニ有之。

海

第電  
十信  
線課

215

KAT

人

西一人 受領 一七三九五 丁 一八二〇 (〇八九七五)

符

● 南洋方面艦隊日・一南艦隊日

● 大津海一部・二八艦隊A・九根A・一機動艦隊日(除一航艦)・二航艦

機密第一八一〇一七番電

第一機動艦隊參謀長

情報ヲ綜合スルニ第一機動部隊ガ在泊ノ事實ハ敵ニ偵知セラレ  
 アルヤノ懸念厚ナルトコロ印度洋ノ敵機動兵力弱ニモ鑑ミ且南方ヨリ  
 敵艦ヲ受クルノ算ナシトセズ現在一機動部隊ノ航空部隊ヲ以テ警戒  
 ニ充當スルハ困難ヲ中斷スルニ至ルヲ以テ現地陸海軍機ニ依ルニ南緯  
 ノ敵敵警戒ヲ速ニ復舊通信艦報又ハ同方面各見張所等ノ敵動靜ニ關ス  
 ル報告等ハ機ヲ速セズ當司令部及六〇一室ニ通報方此ノ上下モ配慮有度。

一一三九一 呂三A(一七五五〇四)十通

海軍

216



親展  
kdF

親展

四一九 受領一七二〇 聯丁一九四五 (〇九五五八) 作  
開始一九二〇

聯隊 食 糧 隊 口

大連急一部

陸軍

陸軍第一八三三三番隊

第一機動隊隊長

聯況ノ経過及一五〇日ノ経過報告ノ不足甚シキニ就テ第十一本機動隊  
ヲ部分ノ同一五〇日ニ編入ノコトニ取計ハレ度

一二二五六

陸三A(一九五五〇)二二一連

海軍

第十信線

217